

安全データシート

作成日：2001年10月1日

改訂日：2021年9月17日

1. 物質または混合物および会社情報

物質または混合物の名称	US-CLEAN（ユーエスクリーン）
製品型式および製品コード	USC-002：SP9115 USC-004：SP9117 USC-010：SP9121 USC-018：SP9119
会社名	株式会社エスエヌディ
会社住所	長野県諏訪市四賀 3225 番地 2
担当部門	営業部
電話番号	0266-58-6688
FAX 番号	0266-58-6654
化学品の使用用途と使用上の制限	工業用洗浄剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	分類できない
エアゾール	分類できない
酸化性ガス	分類できない
高压ガス	分類できない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性または皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 2（神経系）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素



注意喚起語
危険有害性情報

危険
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
神経系の障害のおそれ

注意書き
安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。
取扱後は、よく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗淨を続けること。

保管
廃棄

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。
直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
施錠して保管すること。
内容物/容器を、国際/国/都道府県/市町村の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
組成および成分情報

混合物

化学名	濃度	化学式	官報公示整理番号	CAS 番号
界面活性剤	非公開	非公開	非公開	非公開
リン酸塩	非公開	非公開	非公開	非公開
ケイ酸塩	非公開	非公開	非公開	非公開
香料	<0.1	非公開	非公開	非公開
水	非公開	H ₂ O	—	—

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の場所に移動させ、水で鼻や口をよく洗淨する。必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服をすべて脱ぐ。直ちに水でよく洗い流した後、石鹼で洗淨する。症状がひどい場合は、医師の診断を受ける。

目に入った場合

多量のきれいな流水で15分以上洗淨する。洗眼の際は、まぶたの裏側など隅々まで水がいきわたるように洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外して洗眼する。直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

多量の水で口の中を洗淨する。直ちに医師の診断を受ける。被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤

特定の危険有害性

特定の消火方法

水、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂など火災に応じた消剤有害ガスを発生する恐れがある。

移動可能な容器は、安全に行える限り火災場所から搬出する。

移動不可能な場合は、容器及び周囲を散水して冷却する。

消火作業は風上から行う。

消火を行う者の保護

適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡、保護マスクなど）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業時には、適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡、保護マスクなど）を着用する。

環境に対する注意事項

河川への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法/機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス、スポンジなどに吸着させ、廃棄用容器に回収する。回収した漏出物は、廃棄上の注意に従い廃棄する。回収不可能な場合は、多量の水で希釈し、排水処理を行う。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡、保護マスクなど）を着用する。取り扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

作業に必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

安全取扱注意事項

容器を転倒させない/落下させない/衝撃を与えない/引きずらない。取り扱い後は、手・顔などをよく洗い、うがいをする。

保管

技術的対策

直射日光を避け、通気の良い涼しい場所に保管場所を設ける。

適切な保管条件

直射日光を避け、通気の良い涼しい屋内の場所に保管する。

一度開封した容器の保管は、再度密閉して保管する。

安全な容器梱包材料

ポリエチレン、ポリプロピレン容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

作業場所近くに、シャワー、手洗い及び洗眼の設備を設ける。排気装置や換気装置の設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具

有機ガス用防毒マスクを着用する。

手の保護具

化学防護手袋を着用する。

眼の保護具

保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて化学防護服、長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

液体

色

透明～淡黄色

臭い

ミントの香気

融点、凝固点

情報なし

沸点または初留点および沸点範囲

情報なし

燃焼性

情報なし

爆発下限および上限/引火限界

情報なし

引火点

情報なし

自然発火温度

情報なし

分解温度

情報なし

pH

10（1%溶液代表値）

動粘性率

情報なし

溶解度

情報なし

n-オクタノール/水分配係数(log 値)

情報なし

蒸気圧

情報なし

比重

1.1（原液）

蒸気比重

情報なし

粒子特性

情報なし-

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	常温常圧で安定
危険有害反応性の可能性	情報なし
避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動等)	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害性のある分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	配合原料の GHS 分類及び濃度が区分に該当しないため、区分に該当しないとした。
皮膚腐食性/刺激性	配合原料の GHS 分類及び濃度とアルカリ性物質のため皮膚刺激性を有すると判断した。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	配合原料の GHS 分類及び濃度から、区分 1 とした。
呼吸器感作性または皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	配合原料の GHS 分類及び濃度から、区分 2 (神経系) とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	配合原料の GHS 分類及び濃度が区分に該当しないため、区分に該当しないとした。
残留性と分解性	情報なし
生物蓄積性	情報なし
土壌中の移動度	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
生物化学的酸素消費量 (BOD)	90,000mg/l (原液)
化学的酸素消費量 (COD)	69,000mg/l (原液)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	残った製品(残余廃棄物)は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」及び都道府県条例や市町村の規制など関連する法規に従って廃棄する。 委託処理を行う場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者と契約し、処理する。 低濃度排水は水質汚濁防止法及び下水道法、都道府県条例、市町村の規制など、関連する法規に従って処理する。 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をし、処理する。
汚染容器および包装	

14. 輸送上の注意

陸上輸送	消防法、労働安全衛生法及び道路運送車両法に定められている輸送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている輸送方法に従う。
その他	国連番号・品名・分類・容器等級・海洋汚染物質に該当なし。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	該当なし
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	該当なし
労働安全衛生法	該当なし
消防法	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし

15. その他の情報

引用及び参考文献

原材料製造会社の SDS

外部機関の測定データ

JIS Z 7252:2019 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

化学品の分類及び表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂 7 版
—国際連合 2017

ご注意

記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがある可能性があります。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により、内容に変更が生じることがあります。重要な決定等に利用される場合は、試験によって確かめることをお勧めします。

記載のデータや評価に関しては、保証するものではありません。

また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いをする場合には、新たな用途に適した安全対策を実施した上でお取り扱いをお願いします。危険性および有害性については、予知できないこともありますので、取り扱いには最新の注意が必要です。本製品の取り扱いに関しては、本 SDS をよく読み理解した上で、使用者の責任において行ってください。本製品の譲渡時には、本 SDS を添付してください。